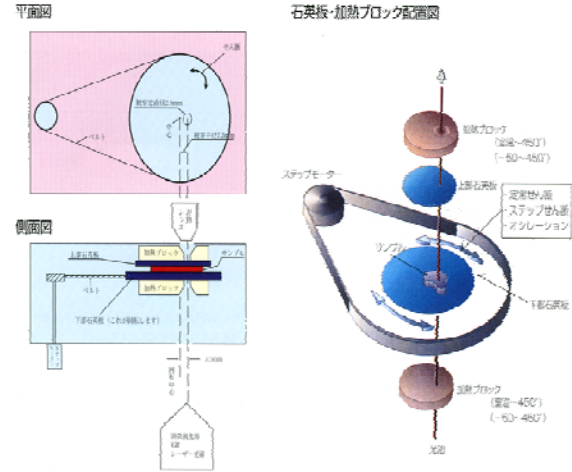


加熱・冷却流動観察装置



流動体試料を2枚の石英プレートにはさみ、温度変化を与えながらせん断をかけ、状態変化、粘度・表面張力、弾性、緩和時間、破談時間を顕微鏡観察しながら測定できる。

1. 機器名称 加熱・冷却流動観察装置
2. 機器分類 レオロジー解析
3. 担当部署 理工学部 ナノ物質工学科 (岡島研究室)
4. 装置担当者 佐藤 一石
5. 導入年度 2004年
6. 型式 ジャパンハイテック CSS-450 (DVD 記録)
7. 仕様・性能 温度範囲：-50~450°C ・昇温速度範囲：0.1~30°C/min
 - ・ サンプル径：30mmφ 試料厚：5~2500μm
 - ・ せん断速度：0.003~15000s⁻¹
8. 機器の開放状況 (該当する区分を選択して下さい。)
 - ・ 有料で開放している。(1,260円/1時間)
 - ・ 共同研究利用の場合は無料
9. 利用上の注意点
10. 主な使用事例：高分子・アロイ・液晶などの結晶化挙動解析など